

孫育ておよび祖父母－孫関係に関する研究の動向

－文化的背景からの検討と国際比較研究－

Research on grandparenting and grandparent-grandchild relationships

－In cultural context and international comparative research－

杉山 佳菜子・榊原 尉津子*・小川 真由子**

愛知みずほ短期大学

* 高田短期大学子ども学科

** 鈴鹿大学こども教育学部

Kanako SUGIYAMA, Itsuko SAKAKIBARA* and Mayuko OGAWA**

Aichi Mizuho Junior College

** Takada Junior College*

*** Suzuka University*

要旨

国際的に祖父母研究は十分に行われていない。その中でも比較的祖父母研究が進んでいる西洋諸国（アメリカとヨーロッパ）と南米地域の研究を概観した。どの国にも伝統的な家族観や祖父母の役割があり、社会制度も異なっている。その視点を無視して研究を進めることができないことが確認された。また、祖父の研究の不足や特に中南米での孫育てにおける祖父母の心理的影響についての研究が少ないことが明らかになった。

一方で、西洋諸国と日本との比較研究を概観すると、社会文化的な背景が違っていても、祖父母－孫関係は相違点よりも類似点が多かった。発達の視点では孫の成長によって関係性が変わっていき、思春期・青年期になるとその関係は一旦は停滞するものの、関係性はどの国においても継続されることが示唆された。

キーワード：孫育て；祖父母－孫関係；文化的背景；国際比較

Key Word : grandparenting; grandparent-grandchild relationships; cultural context; international comparative research.

I. はじめに

我が国の総人口（2021年9月15日現在推計）は、前年に比べ51万人減少している一方、65歳以上の高齢者人口は、3640万人と、過去最多となっている。総人口に占める割合は29.1%で過去最高と、少子高齢化の傾向は続いている（総務省, 2021）。そこで注目されているのが高齢者の知識やエネルギーの活用方法である。

子育て場面では以前より高齢者の知識やエネルギーは活用されてきた。日本の子育て家庭では3世帯同居等により以前より祖父母世代に頼る傾向がある。実際、子ども（1歳6か月）が育児を普段受けているのは「母」（96.4%）が最も多いが、「父」（49.4%）に次いで「祖母」（26.1%）、「祖父」（10.1%）となっている（複数回答）。「祖母」に関しては「保育所の保育士」（18.3%）よりも多く、子育ての担い手として活躍している（厚生

労働省, 2002).

一方で 65 歳以上の高齢者がいる世帯のうち 3 世帯家庭の割合が低くなっており (厚生労働省, 2019), 祖父母と孫との付き合い方や, 祖父母と親世代との関わり方に様々なバリエーションが生じ, 関係性を保つことに難しさを感じる家庭も増えているという. 2011 年, 「孫育て・ニッポン」という NPO 法人が誕生した. この団体では, 祖父母を対象とした孫育て講座やイベントを定期的に開催している. また, 子育て中の父母に対しても, 祖父母と協力して子育てするための「祖父母とのおつきあい 10 カ条」という啓発も行っており, 祖父母-両親-子どもとの 3 者の関係を円滑にする取り組みが行われている. その他, 「孫育て・ニッポン」の HP には全国の「祖父母手帳」が紹介されており, 東海地方では, 岐阜県の「孫育てガイドブック」が紹介されている. 母子手帳ならぬ「祖父母手帳」の需要があることから, シニア世代の孫育てに積極的に関わりたい気持ちと, シニア世代が孫育てを担うことの期待が伺われる.

孫育てへの期待は日本と同様に, 世界でも注目されはじめています. *Newsweek* 日本版 (2020) に「みんなで支える子育て新時代」と称して 14 頁の孫育てに関する特集が組まれた. このことから, 世界中で孫育てに関心が寄せられてきていることや, 子育ては両親-子の関係だけでなく, 祖父母世代も巻き込んだイベントになってきていることが伺える.

この特集では, アメリカで 3 世代同居が増えていることや孫との交流で認知症の予防につながる可能性があること, 両親のストレスと祖父母の役割について言及されている. また, 日中韓の孫育てスタイルの比較もされている. 祖父母による孫育ては肉体的な疲労があっても, 心理的にはよい影響を与える可能性がある. しかし, 韓国や中国では夫婦共働き家庭のしわ寄せとして祖父母に過剰な負担がかかっており, 社会政策を通してこの負担軽減を考えていかなければならないという.

日本の孫育て研究は, 秦ほか (2021) でまとめられている. この研究では, 医学中央雑誌と CiNii を用いて「孫」と「育児/孫育て/子育て/子守り」と「祖父母/祖父/祖母/高齢者/三代目」のキーワード検索を行っている. 1994 年~2018 年までの乳幼児の孫育てに関する研究 24 件をレビューし, 日本の祖父母研究は, 祖父母が行う孫育ての内容, 祖父母の健康への影響, 祖父母を対象とした支援の 3 つに分類されることを指摘した. 杉山・二宮 (2021) は CiNii で 2019 年以降の関連論文を検索した. 2021 年 8 月までにさらに 27 件の孫育て関連の論文が掲載されていた. それらの文献をレビューし, 孫育てが母子関係および,

母子の子育て支援の一部として位置付けられていること, 祖父の視点や精神的健康や主観的幸福感との統計的な検討の必要性を指摘している.

以上のような, 近年の孫育ておよび祖父母-孫関係についての世界的な関心の高まりを鑑み, 本研究の前半は世界の祖父母-孫関係を概観する. *The Psychology of Grandparenthood: An International perspective* が刊行されて”祖父母の世界的な研究の必要性が示されてから 25 年が経過しているが, ほとんどの国でまだ十分に研究されていない (Shwalb & Hossian, 2018). また, 老年学, 社会学, 心理学, 家族研究およびその他の分野においては祖父母の現代的な重要性を認識しているにも関わらず, これらの分野でも研究がすすんでいないという (Szinovacz, 1998). さらに, これまでは発展途上国での祖父母の研究は積極的に行われてこなかったが, 非西洋社会の方が祖父母が伝統的に特に大きな役割を果たしているという指摘もある (Shwalb & Hossian, 2018).

そこで本研究では, 比較的祖父母研究が進んでいる西洋諸国 (アメリカとヨーロッパ) と南米地域の研究を概観し, 祖父母と孫育ての特徴を指摘することとする. その後, 日本と西洋諸国との比較研究を探り, 祖父母研究と孫育て研究の課題を検討することとする.

II. 西洋諸国および南米の祖父母研究

1. メキシコ及び中米

メキシコでは 60 歳以上の 30%が幼い孫と暮らしておりこの地域の祖父母は世界の他の地域よりも若い傾向がある (Gibbons & Marsicovetere, 2018). 祖父母は孫から肉体的な支援と心理的な恩恵を受けているという. マヤ人の孫は祖父母にとって感情的なサポートを提供し, 感情・仲間・同情・承認の資源であり, よく話を聞いてくれる相手であるという (Villagomes & Sanchez, 2014). したがって, 祖父母にとっては孫の存在が肉体的・感情的な支えになっていると言える.

メキシコのハリスコ州の祖母はしばしば母親の代わりに孫の世話をする. *Partidas* (2004) では祖母を「完璧な母親の代用品」と形容している. 孫の世話をしている祖母のほとんどが娘の子どもにあたる孫の世話をしており (Garay Villes, et al., 2014; Jimenez, 2012), さらに祖父はほとんど孫育てに関わっていない. 多くの祖父は“caballerismo” (ナイトで穏やかな男らしさ) の影響を受けて, 家族の支援と保護という役を担っている. 両親が他国に出稼ぎにでることもあるため, 祖母の孫育ての負担が大きくなるのが課題である.

2. アメリカ

2006 年の統計では, 610 万人の祖父母が孫と暮ら

し、そのうち 240 万人が孫育てをしている (Statistical Abstract of the United States, 2008). 全体的に 24 時間を通して孫育てをしている祖父母は多くないが、ここには人種の差があり、孫の両親とともに孫育てをしている祖父母は白人よりもヒスパニック系とアフリカ系アメリカ人が多い (Fuller-Thomason & Minkler, 2001).

心理的な影響では孫育てを積極的にしている祖父母は認知機能が衰えず感情的に健康であり、寿命も長くなることが報告されている (Christensen, 2014; Gurn & Beneke, 2015). 祖父母は孫の家族の危機が訪れた時にサポートして (Moore & Rosenthal, 2015), 両親の離婚の影響を緩和するという役を担う可能性があり (Henderson et al., 2009), 孫にとっても心理的な影響をあたえる存在である。また、高等教育を受けた祖父母は孫に学業成績と感情的な発達により影響を与えるという (Jaeger, 2012). 現在の祖父母研究では祖父母と孫の関係に重点が置かれた研究が主であるが、人種や文化の文脈に注意が払われておらず、また戦争の影響についても検討が必要である (Hayslip Jr. & Fruhauf, 2018).

その他、Elkind (1990) では祖父母世代が育っていた 2 世代前と孫世代では共稼ぎ夫婦の増加、離婚率の増加、農村地域から都市部への移転、テクノロジーの変化、新しい学習教材の必要性、薬物文化を受容し始めたことの社会的な変化を指摘している。しかしこうした変化に子育て支援制度が追いついておらず、健全な子育てをしようとする両親・祖父母に対しての支援が少ないこと、子どもに関する法律が親や大人からの保護とは逆の“子どもが権利を主張すること”に傾いていることもあり、親や祖父母の子育てが一層難しくなっているという。しかしこのようなストレスフルな現代の育児において、中流階級の男性が育児と家事に参加するようになったという変化については評価されるという。Elkind (1990) の指摘から 30 年が経過しており、当時の育児に参加し始めた男性は祖父世代となっている。この点からも祖父の孫育ての現状や心理的な効果についての研究に積極的に取り組む必要があると言える。

3. ブラジル

ブラジルの平均寿命が延びており、祖父母や曾祖父母を経験する人が増えている。若い祖父母の方が積極的に孫と関わるという報告 (Oliveira et al., 2009) や母方の祖母は居住形態に関係なく、家族の誰よりも孫の世話をしている (Rabinovich & Azevedo, 2012) という報告がある。一方で、一部の農村部では祖父母が最初に生まれた孫を養子にして世話をする傾向がある

(Santos et al., 2011) が、農村部の孫育ての調査研究が少ないという。経済的な格差や地域性などの検討が必要である。

これまでは、祖父母は若い世代に価値観や家族の歴史や文化遺産を伝える役であったが、最近では学校の成績の心配、行動とマナーや仲間との関係の指導と世話の責任が含まれてきている。さらに、10 代での妊娠、離婚、両親の仕事と移住、孫の病気や障害などの理由で祖母が孫育てをしていることが示されている (Dias et al., 2018). 祖父母に求められるものが増えていると言える。

次世代を養うことに対して、祖父母は人生に満足し、新しい自分と達成感を手に入れ、孫の社会を称賛し、孤独感がなくなり、孫の世話がもたらす有用性と活力を楽しんでいる (Dias & Costa, 2006). 一方で身体的および精神的健康の質、社会生活や家族生活の質を低下させ、経済的負荷とストレスレベルを高め、個人的な時間の減少や健康上の問題、孫から見た両親との対立につながる可能性がある (Cardoso, 2011; Davis, Ha-ra, & Aguiar, 2010) など、孫育ての矛盾する心理的影響を示唆している。

4. ドイツ

ドイツでは 50 歳以上の人の約半数が 3 世帯で住んでおり (Grunheid & Scharein, 2011), 70 歳の両親の 80% が孫がいるという (Engstler & Menning, 2005) が、3 世帯同居率は年々減ってきている (Federal Statistical Office of Germany, 2016). ドイツでは祖父母の役割の重要性は祖父母がどんな社会的地位、教育レベル、収入、職業上の名声であっても変わることがない点で、経済的地位で祖父母の役割が変わるアメリカやブラジルと違っている (Mahne & Motel-Kilngiebel, 2012). また、公共の保育所の充実や母親の働き方の改善が行われている効果により、祖父母が関わる割合は減っているという。そこで「レンタルおばあちゃん」という特徴的なサービスが誕生した。祖父母に預けたいが預けられない幼い子を持つ親と祖父母世代をつないでいる (Mahene et al., 2018).

ドイツには東西に分かれていた歴史があり、今でも旧東ドイツ地域は親族関係が緊密な旧西ドイツ地域に対して、家族志向が強いままである (Szydlik, 1996) ことや、ポーランドやルーマニアをはじめとする移民の文化的背景の違いなど、ドイツ国内の傾向を一言で表すことはできない。実際、トルコ移民の祖父母はドイツ人よりも孫の世話に深くかかわっているという (Hubert et al., 2009). さらにドイツでは主観的幸福感などの心理的変数を扱った祖父母研究が少なく、共同で養育することや保護する方法についての研究が主

となっている (Mahene et al, 2018). これらの点についての研究の必要性が示唆される。

同じヨーロッパでも南欧と福祉国家である北欧とは社会福祉サービスの相違によって祖父母・親・孫の関係性は示唆されている (Settles et al, 2009). しかし, Herlofsin & Hagestad (2012) の SHARE (Wave1) を用いた分析では, 北欧でも一定の頻度で孫の面倒を引き受ける祖父母の割合は南欧の国々と大きな違いはなかった. しかし, 一定頻度で孫の面倒を見ると回答した祖父母の中で毎日のようにケアを行う祖父母の割合は北欧とオランダで低く, 南欧では高かった. さらに, 孫と祖父母が近くに住んでいるということと女性の労働市場に関する制度によってその程度が異なり (Hank & Buber, 2009), それぞれの国の女性の労働市場の構造と公的な子育て支援が孫育てに影響しているという (Glaser et al., 2016).

5. イギリス

イギリスには3つの伝統が残っている. 1つめの伝統は祖父母は子どもの孫の育て方に「非干渉」であること. 2つめは保護者であり親友でありサポーターとして「そこにいること」. 3つめは孫育てに関与できるかどうかは両親の許可によるという「親が門番である」ということである. この3つの伝統により, イギリスの祖父母は孫と自由に会う権利がなく, 100万人以上の祖父母がこれによって影響を受けていると推定されている (Buchanan, 2018). 一方で RIAS: イギリスの大手保険代理店 (2015) の調査では, イギリスの祖父母の3分の2 (67%) が孫に育児を提供しており, 157億ポンド (202億ドル) 分, 育児家庭の家計を節約している計算になるというが, 孫の世話をしている祖父母の98%がその費用をもらってはいない. 一般的に恵まれない家庭の孫は祖父母とより多くの接触を持っているという報告もある (Ross et al, 2005). 孫育てが祖父母世代の経済的な負担となっている可能性があり, その負担感は低い階級や経済的な困難さがある家庭において顕著となることが示唆される.

なお, イギリスはイングランド・スコットランド・ウェールズ・北アイルランドという4つの地域差も考慮しなければならないという. ガンバロ・スチュアート・ボルドフォーゲル (2018) は, 2012年のイングランドの親を対象とした調査では, 3歳未満の子どもの59%は, 親以外による保育を何らかの形で受けていた. そのうち39%は公的な (有料) 保育 (33%は施設型保育で7%はチャイルドマインダーやベビーシッターによる保育), 33%は私的な (無償) 保育 (主に祖父母) であった. ウェールズにおける類似調査でも, 同様のデータがみられたとしており, 政策や子育て観の地域差

はあっても, 子育ての現状は同質なものとして捉えられる.

Brown et al. (2015) は週に10時間以上孫の世話をする祖父母で体調が万全だと答えた人は減少するが, 孫の面倒を見ることは満足感が得られるものだと回答したとしている. また, 祖父の孫への関与は子どもの幸福感の向上に関連しており, この傾向はイスラエルと南アフリカでも証明されている (Buchana & Rotkirch, 2016) という. また, 祖父母は孫の重要な愛着対象であるだけでなく, 祖父母との関わりが孫の幸福感にプラスの影響を与える可能性があるという (Burchanam & Flouri, 2008). 孫への影響は取り上げられているが, イギリスの祖父母世代の心理的影響については十分な知見がそろっていないと言える.

6. ロシア

ロシアでは母性に関する研究が父性に関するよりも多く, 祖父母関係においても祖母の存在が大きい. 特にロシアの祖母 (バブーシュカ) は長い間家族の生活において象徴的かつ実用的な重要性が高く, 家族支援の重要な要として祖母の歴史的文化的な業績がある (Utrata, 2011, 2015). 祖父の研究がみられないのは世界の他の国でも同じ傾向があるが, ロシアの場合, 男性はソビエト国家によって, 国営企業の管理やリーダーシップなど, 有給の仕事に集中することが奨励されていたため, 家族の生活から疎外されており, かなり質が違うものである. さらに, 飲酒が男性の寿命を縮めており (Gavrilova & Gavrilova, 2009), この面でも祖父の孫育て行動に影響を与えている可能性がある. さらに, 農村部ではとくに, ジェンダーの伝統的な主義が強まる傾向があり, 男性や祖父が家事や育児に参加することを思いとどまらせているという (Kosterina, 2012; White, 2005). 農村部と都市部との比較研究も含め, 国家社会主義から資本主義社会への移行における祖父母の役割の変遷を分析する必要がある.

ロシアの子どもがいる多くの世帯が祖父母の年金収入に依存している (Kanji, 2009) が, 年金の支払いに滞納があり, その不安から祖母は働き続けることを選択する. そして, 孫の緊急時には仕事を休んで対応す

表1 祖父母の多様性の根源となるもの

	家族の特徴	経済的要因	規範・価値観・民族的な信条
メキシコおよび中米	大家族 低い離婚率 高い出生率	農業と鉱業 貧困とインフレ	大家族 高齢者を尊敬する ファミリーズム 階級社会
アメリカ合衆国	核家族 高い離婚率 低い出生率	資本主義 サービス業と製造業 豊かさと経済的不平等	個人主義 競争 民主主義 個人的な選択
ブラジル	大家族 低い離婚率だが増加傾向	農業と製造業 発展途上国	拡張ネットワーク 階級社会 長老を尊敬する
ドイツ	核家族 高い離婚率 低い出生率	資本主義 サービス業と製造業 公共福祉 高収入	個人主義 競争 民主主義 個人的な選択
イギリス	核家族 高い離婚率 低い出生率	資本主義 サービス業と製造業 公共福祉 高収入	個人主義 競争 民主主義 個人的な選択
ロシア	核家族 高い婚率 低い出生率	大規模な女性労働力 社会主義国家からの 遷移	個人主義 母性的 覇権的性役割がある 男性はアルコール中毒的

Shwalb & Hossian (2018) を筆者編集

るなど、孫育ての中心的な役割を担っており、文化的にも祖母および女性が家庭の仕事を担うことが期待されている (Utrata, 2018)。この点についても今後の人口の変化や社会全体の変化における変遷は研究課題と言える。

その他、ロシアの祖父母研究は、制度や役割の分析が中心でドイツやアメリカほど行われていない (Utrata, 2018)。孫育ての祖父母の心理的影響とともに、孫への影響についても研究が必要である。

7. 西洋諸国および南米の祖父母研究のまとめ

表1に祖父母の多様性の根源となる家族の特徴と経済的要因と規範・価値観・民族的な信条を本文中で指摘したものも含めてまとめる。どの国にも伝統的な家族観や祖父母の役割があり、その視点を無視して祖父母の役割や心理的影響を扱えないと言える。例えば、メキシコもロシアも祖父が孫育てに関わらないという事実があるが、その理由は”caballerismo”という観念的なものなのか、ソビエト連邦の政策の一部だったのか、という点は大きい。したがって、祖父母研究を考える時に、文化的な背景は無視することはできないと言える。

III. 西洋諸国と日本との比較研究

1. ヨーロッパ諸国との比較研究

佐藤 (2019) では、オランダと日本の孫育てについて比較検討した。その結果、両国ともに家族主義でインフォーマル保育に依存する傾向が高いこと、祖父よりも祖母が、父方よりも母方の祖父母の支援が顕著であった。さらに、子どもが祖父母と孫の交流を加減する立場にあることも共通しており、思春期になると祖父母と孫の交流は一旦停滞していた。相違点としては、育児期の女性の就業継続について、オランダの祖母は自身が達成しえなかったキャリア形成を娘に望んでいるが (Geurts, 2012)、日本の祖父母はアンビバレントな感情を抱いている可能性が示唆された。この点については、日本で男女のワーク・ライフ・バランスの構築が遅れていることが影響していると考察している。

佐藤 (2020) は、イギリスと日本の孫育ての参加について比較検討している。イギリスも日本も祖父母 (grandparents) と孫 (grandchildren) の交流を子ども (parents) が加減する立場にあるということと、母方祖父母の孫育ての参加は父方祖父母の支援よりも顕著であることが共通していた。また、孫が思春期になると関わりが停滞する時期もあるが祖父母との愛着関係が形成できていれば、その後も交流が継続する点も

共通している。一方で、日本とイギリスではワーク・ライフ・バランスが違っており、日本の方が祖父母への負担が大きくなることが予想されることと、イギリスは階級社会であり、孫のキャリア形成や社会階層に祖父母が影響を与えているという点が相違点として挙げられていた。

小野寺 (2021) では、未成年子を養育する親の離婚という状況における祖父母の働きを考察した。スウェーデンでは、離婚後の共同親権・協働監護の制度が取り入れられており、子どもが離別した両親のもとを定期的に行き来し、原則同程度の期間をともに暮らすという「交替居住」という形態の普及が相対的に進んでいる。このような交替居住をする孫にかかわる祖父母にインタビューをした結果、世代間における新たなネットワークの創造という重要な働きを成していること、個人の自立・自己決定という価値と、家族を第一に考えるメンタリティとの間でしばしば葛藤していること、若い世代との交流によって高齢期における孤独孤立の回避への期待をもっていることが明らかになった。祖父母が新しい家族のネットワークの構築をするというスウェーデンの祖父母が担っている役割は、親権者の親という立場で、自身に連なる子どもと孫だけを丸抱えで支援している祖父母にはない役割であると指摘している。

2. アメリカと日本との比較研究

諏澤 (2013) では、祖父母一孫の関係性の変化について、ライフステージごとの文献レビューを行っている。その結果、米国では学童期～思春期にかけて、知識伝達や教育投資など個人の学習に介入する祖父母機能が示唆されたが、日本では祖父母の道徳的教育や躾などの社会化教育が多く語られていた。さらに米国では、青年期の孫は世代間結束よりも、個々の情緒的つながりを求める活動や時空間の共有を望んでいた。その一方で、日本の孫は大学生になると、祖父母の健康問題が顕在化し、老病死に対峙する祖父母の姿に、孫自身の生き方を照らしながら自己の価値観が再構築され、結果として世代間結束を促していたという。このように、祖父母一孫の関係性は孫の成長とともに変化することを明らかにした。

3. 日本との比較研究のまとめ

現在のところ、日本と西洋諸国との比較研究はほとんどみられず、CiNii ではヨーロッパ諸国との比較研究が3件、アメリカとの比較研究が1件掲載されているのみであった。

これらの論文を概観すると、オランダとイギリスという文化および社会制度が異なる国と比較しても、祖

父母一孫関係は相違点よりも類似点の方が多いと言える。祖父母による孫育ては子育てで支援にかかわる社会制度の補完的な役割として機能している。また、氏家 (2011) が指摘するように祖父母が孫と関わったり、子ども世代に助言できたり支援できたりするのは子ども世代がそれを認め、受け入れているからであり、各国とも孫育ては子育ての延長に位置付けられていると言える。ただし、スウェーデンの研究をみると、孫から見た両親の離婚というライフイベントにおいては、親権制度という社会制度によって、祖父母との接触機会が制限される可能性が高く、それぞれの国で祖父母の役割が変わってくるのが予想される。

発達の視点では孫の成長によって関係性が変わっていき、思春期・青年期になるとその関係は一旦は停滞するものの、関係性はどの国においても継続されると言える。

これらの結果は資本主義・民主主義的な国であり、基本的な家族の特徴も類似した国の結果であるため、類似点が多いと考えられる。表1に示すように、メキシコおよび中米やロシアやブラジルという社会構造や規範が大きく異なっている国々とは現在比較されていないが、孫育てが子育てにかかわる制度の補完的な役割であることを考えると、日本とこれらの国は大きく異なることが予想される。このような国との類似点というのは興味深い点である。特にブラジルには日系人も多く住んでいることや、日本で暮らしている人口も多いため、比較検討により新しい知見が得られるかもしれない。

なお、比較研究だけでなく、国際的な祖父母研究においても、心理社会的要因との検討は不十分である。この点については、日本国内の研究も同様で、研究が少ないだけでなく、変数の尺度化もされていない(杉山・二宮, 2020)。さらに、祖母の研究は多いが、祖父の研究はほとんど行われていない点も祖父母研究の課題である。今後はアジア諸国とアフリカ諸国の祖父母研究の動向を概観したい。また、特に儒教的思想など文化的背景の類似性が高い日本・韓国・中国との比較研究にも注目していきたい。

引用文献

- Brown, M., Dodgeon, B. & Goodman, A. (2015). Caring responsibilities in middle age: Evidence from 1958 National Child Development Study at age 55, Institute of Education, University of London. <https://cls.ucl.ac.uk/wp-content/uploads/2017/06/NCDS-briefing-paper-Caring-responsibilities-in-middle-age-web.pdf> (2021.10.15)

- Buchanan, A. (2018) Changing roles of grandparents in the UK : Emergence of the “New” Grandfather. *Grandparents in cultural context*, Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.):111-132. Routledge, New York.
- Buchanan, A., & Flouri, E. (2008) Involved grand parenting and child well-being: Non technical summary (research summary). ESRC End of Award Report, RES-000-22-2283. Swindon: ESRC.
- Buchanan, A., & Rotkirch, A. (2016) *Grandfathers: Global perspectives*. London, UK: Palgrave Macmillan.
- Cardoso, A. R. (2011) *The twenty-first century grandparents, mutations and rearrangements in contemporary family*. Curitiba: Juruá.
- Christensen, S.G. (2014) The association between grandparenthood and mortality. *Social Science and Medicine*, 118, 89-96.
- Dias, C. M. S. B., Rosa Azambuja,R.,Rabinovich,E., & Bastos,A.C.(2018)*Grandparents in Brazil: The Contexts of Care and Economic Support for Grandchildren*. *Grandparents in cultural context*, Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.):60-79. Routledge, New York.
- Dias, C. M. S., B., Hora, F.F. A., & Aguiar, A. G. (2010) Young created by grandparents and one or both parents. *Psicologia, Teoria e Pritica*, 12(2), 188-199.
- Dias, C. M. S. B., & Costa, J. M. (2006) A study of the grandmother guardian in Recife. In M. C. L. A. Amazonas, A. O. Lima, & C. M. S. B. Dias (Eds.), *Women and family: Various speeches* (pp. 127-138). Workshop Publisher Book, São Paulo.
- Di Gessa, G., Glaser, K., Price, D., Ribe, E., Tinker, A. (2016) "What drives national differences in intensive grandparental childcare in Europe?" *Journals of Gerontology - Series B Psychological Sciences and Social Sciences*, 71(1): 141-153.
- Elkind,D.(1990) *Grandparenting : Understanding today's Children*. Scott, Foresman, Glenview Il.
- Engstler, H., & Menning, S. (2005) The transition to grandparenthood: Cohort-specific trends in prevalence, age, and duration of grandparenthood in Germany. *Mitteilungen de Deutschen Gesellschaft für Demographie*, 4(8), 7.
- Federal Statistical Office of Germany (2016) There are 209,000 households with three or more generations. Press release no. 263. Wiesbaden: Statistisches Bundesamt. Retrieved from www.destatis.de/DE/Presse/Service/Presse/Presse mitteilungen/2016/07/PD16_263_122.html
- Fuller-Thomon, E., & Minkler, M. (2001) American grandparents providing extensive child care to their grandchildren: Prevalence and profile. *The Gerontologist*, 41,201-209.
- Garay Villegas, S. Montes de Oca Zavala, V., & Guillén, J. (2014) Social support and social networks among the elderly in Mexico. *Journal of Population Ageing*, 7, 143-159.
- Gavrilova, N. S., & Gavrilov, L. A. (2009). Rapidly aging populations: Russi/Europe. In P. Uhlenberg (Ed.), *International handbook of population aging* (pp.113-131).New York: Springer.
- ガンパロ・スチュアート・ヴォルドフォーゲル(2018) *保育政策の国際比較*. 明石書店, 東京
- Geurts, T. (2012) *Grandparent-Grandchild Relationships in the Netherlands : A Dynamic and Multigenerational Perspective*. *Childcare by Grandparents : Changes between 1992 and 2006*. Geurts T., Tilburg, T., Poortman, A.,& Dykstra, P.A. (eds.):2-22. Vrije Universiteit. <https://research.vu.nl/ws/portalfiles/portal/42215033/chapter+1+Grandparent%E2%80%93grandchild+relationships+in+the+Netherlands.pdf> (2021.10.22)
- Gibbons, J.L., & Marsicovetere,R.F(2018) *Grandparenting in Mexico and Cenral America : Time and Attention*. *Grandparents in cultural context*, Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.):17-40. Routledge, New York.
- Grisheid, E. & Scharein, M. G. (2011) On developments in the mean joint lifetime of three- and four-generation families in Western and Eastern Germany: A model calculation. *Comparative Population Studies*, 36(1). doi:10.4232/10.CPoS-2011-01en
- Gurn, K., & Beneke, C. (2015) Grandparenthood predicts late-life cognition: Results from the Women's Healthy Ageing Project. *Maturitas*, 81, 317-322.
- 秦暁子・高橋香子・坂本祐子・和田久美子 (2021) 乳幼児期の孫育て研究の動向ー1994年から2018年に報告された文献レビューー. *福島県立医科大学看護学部紀要*, 23, 1-8.
- Herlofson, K., Hagestad, G. O., 2012, "Transformations in the role of grandparents across welfare states," in Arber, S., Timonen, V.

- (eds.), *Contemporary Grandparenting: Changing Family Relationships in Global contexts*, Bristol: Policy Press, 27-49.
- Hayslip Jr. B., & Fruhauf, C.A., (2018) Grandparenting in The United States : Cultural and Subcultural Diversity. *Grandparents in cultural context*, Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.):41-59. Routledge, New York.
- Henderson, C., Hayslip, B., Sanders, L., & Loudon, L. (2009) Grandmother-grandchild relationship quality predicts psychological adjustment among youth from divorced families. *Journal of Family Issues*, 30, 1245-1264.
- Hank, K., & Buber, I. (2009) Grandparents caring for their grandchildren: Findings from the 2004 Survey of Health, Ageing, and Retirement in Europe. *Journal of Family Issues*, 30(1), 53-73.
- Jaeger, M. M. (2012) The extended family and children's educational success. *American Sociological Review*, 77, 903-922. doi:10.1177/0003122412464040
- Jiménez Pelcastre, A. (2012) Violence in old age: the case of grandmothers who care for their grandchildren in a rural locale in the state of Hidalgo. *El Cotidiano*, 174, 19-32.
- Kanji, S. (2009). Age group conflict or cooperation? Children and pensioners in Russia in crisis. *International Journal of Sociology and Social Policy*, 29 (7,8), 372-387.
- Kosterina, I. (2012). Young married women in the Russian countryside: Women's net works, communication and power. *Europe-Asia Studies*, 64(10), 1870-1892.
- 厚生労働省 (2019) 国民生活基礎調査. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/dl/02.pdf> (2021.8.16)
- 厚生労働省 (2002). 21 生起出生児縦断調査 (平成 13 年出生児) 第 2 回調査. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/02/kekka3.html> (2018. 8.23).
- Mahne, K., & Klaus, D., & Engstler, H. (2018) Grandparenthood in Germany : Intimacy at a Distance or Emeritus Parents? *Grandparents in cultural context*, Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.):83-110. Routledge, New York.
- Mahne, K., & Motel-Klingebiel, A. (2012) The importance of the grandparent role. A class specific phenomenon? Evidence from Germany. *Advances in Life Course Research*, 17(3),145-155. doi:10.1016/j.alcr.2012.06.001
- Moote, S. M., & Rosenthal, D. (2015) Personal growth, grandmother engagement, and satisfaction among non-custodial grandmothers. *Aging and Mental Health*, 136-143.
- Newsweek 日本版 Vol.35 No.13 : 20-31. 株式会社 CCC メディアハウス, 東京.
- Oliveira, A. R. V. Gomes, L., Tavares, A. B., & Cárdenas, C. J. (2009) Relationship between grandparents and their grandchildren in the period of infancy. *Revista Kairós Gerontologia*, 12(2), 149-158.
- 小野寺理佳(2021) 交替居住する孫をめぐる世代間関係 : スウェーデンにおける祖父母調査から. 北海道大学大学院教育学研究院紀要, 138, 161-179.
- Partidas, R. (2004) Workers in the electrical plant in Jalisco: Grandmothers as providers of childcare. *El Cotidiano*, 19(125), 68-77.
- Rabinovich, PE, & Azevedo, T. (2012) Participation of grandparents in the daily care young grandchildren. In M. G. C. Casm, A. M. C. Carvalho, & IV. C. Moreira (Eds.). *Family care dynamics* (pp. 205-238) Salvador: EDUFBA
- Ross, N., Hill, M., Sweeting, H., & Cunningham-Burley, S. (2005) Grandparents and teen grandchildren: Exploring intergenerational relationships. Report for ESRC, Centre for Research on Families and Relationships.
- Santos, T. M. Silva, S. S. C., & Pontes, F.A.R. (2011) The participation of grandparents in grandchildren are in a riverside community. *Psicologia, Teoria e Prática*, 13(1), 182-197.
- 佐藤 淑子(2019)父母のワーク・ライフ・バランスと祖父母による孫育て—日本とオランダの比較—. 鎌倉女子大学学術研究所報, 19, 77-88.
- 佐藤 淑子(2020) 父母のワーク・ライフ・バランスと祖父母による孫育てへの参加—イギリスの現状と研究から考える—. 鎌倉女子大学学術研究所報, 20, 75-85.
- Settles, B. H., Zhao, J., Mancini, K. D., Rich, A., Pierre, S., Oduor, A. (2009) "Grandparents Caring for their Grandchildren: Emerging Roles and Exchanges in Global Perspectives." *Journal of Comparative Family Studies*, 40(5), 827-848.
- Shwalb, D., Hossain, Z., (eds.) (2018) *Grandparents in cultural context*. Routledge, New York.
- 総務省統計局(2021)統計トピックス No.129 統計から

- みた我が国の高齢者－「敬老の日」にちなんで－
<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1291.html>
(2021.10.8)
- Statistical Abstract of the United States. (2008)
Births and birth rates. Washington, DC: US
Census Bureau, American Community Survey.
- 杉山佳菜子・二宮克美(2021) 展望：祖父母－孫関係に
関する心理学的研究－高齢者の精神的健康および主
観的幸福感に着目した国内外の研究－. 総合政策研
究, 24(1), 1-9.
- 諏澤宏恵(2013)日米の実証研究にみる祖父母－孫関係
の発達的变化：祖父母・親・孫のライフステージを
単位とした検討. 人間文化研究科年報, 28, 121-131.
- Szinovacz, M. E. (1998) Handbook on
grandparenthood. New York, Greenwood Press.
- Szydlak, M. (1996) Parent-child relations in East and
West Germany shortly after the fall of the Wall.
International Journal of Sociology and Social
Policy, 16(12), 63-88.
- 氏家達夫 (2011) 祖父母性と次世代の親子関係の支援
氏家達夫・高濱裕子 (編) 親子関係の生涯発達心理
学. 風間書房, 東京.
- Utrata, J. (2011) Youth privilege: Doing age and
gender in Russia's single-mother families. Gender
& Society, 25, 616-641.
- Utrata, J. (2015) Women without men: Single
mothers and family change in the New Russia
Ithaca, NY: Cornell.
- Utrata, J. (2018) Grandmothers in Russia's
matrifocal families : Shoring up family Life.
Grandparents in cultural context, Shwalb, D.,
Hossain, Z., (eds.):133-156. Routledge, New York.
- Villagómez Valdés, G., & Sánchez González, M. C.
(2014) Mayan women: Aging. povem and
vulnerability. Península, 9(2), 75-98.
- White, A. (2005) Gender roles in contemporary
Russia: Attitudes and expectations among women
students. Europe-Asia Studies, 57(3), 429-455.

付記

本研究は、JSPS 科研費 21K02341 の助成を受けて実
施された一部である。